

参考資料：ゲストプロフィール

C.W.ニコル(しー・たぶりゅー・にこる)

作家。

英国南ウェールズ生まれ。カナダ水産調査局北極生物研究家の技官として海洋哺乳類の調査研究に従事する。エチオピア帝国政府野生動物保護省の猟区主任管理官、シミエン山岳国立公園を創設、公園長を務める。'72年からカナダ水産調査局淡水研究所の主任技官、環境保護局の環境問題緊急対策官として、石油/科学薬品の流出事故の処理にあたる。'80年からは長野県黒姫に居を定め、執筆活動をしながらいまに至る。'95年に日本国籍を取得。2002年には財団法人 C.W.ニコル・アフターの森財団を設立する。

稲本正(いなもとただし)

工芸家。

立教大学勤務後、1974年工芸村「オークヴィレッジ」(岐阜県清見村)を創設。お椀から建築まで幅広い工芸を展開する一方、植林活動を行い、また地球環境における森林生態系の重要性を発言しつづける。『森の惑星』(『家庭画報』連載)では、3年半をかけて世界15ヵ国、20の森を訪ねた。2005年には『森と生きる』を出版。

岡野弘幹(おかのひろき)with 天空オーケストラ

音楽家/プロデューサー。

日本のアンビエント、トライバルシーンにおける先駆的存在である岡野弘幹を中心に、1995年、強力な個性を持ったメンバーが集まり結成された。世界中の民族楽器を駆使し紡ぎだされるサウンドは、既存の世界ミュージックやエスニックの枠に収まらず、独自のトライバルロックというジャンルを確立。フジロックをはじめ、グラストンベリーフェスティバルなど海外公演も数多く、高い評価を得ている。